

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 526 号	氏名	須藤 結香
学位審査委員	主査	丹羽 正美	
	副査	篠原 一之	
	副査	小澤 寛樹	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、癌性疼痛など慢性疼痛の治療薬である GABA_B 受容体作動薬バクロフェンの耐性機序を解明しようとしたもので目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 蛍光タンパク融合 GABA_B 受容体タンパクと G タンパク共役型受容体リン酸化酵素 (GRK) 4 など関連タンパクの細胞内動態解析法や、FRET アッセイ法などのタンパク複合体検出法を用いて解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、GABA_B 受容体の脱感作には、GRK4 によるリン酸化に誘発される β アレスチン依存的な受容体細胞質内移行は関与しないという新たなバクロフェン耐性機序を明らかにし、今後の疼痛治療薬に関する神経薬理学的研究の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は神経薬理学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			